# 現代日本政治論I



佐藤内閣

浅野正彦

### 1964年7月の総裁選挙結果

第一回投票結果

池田勇人 ••• 242

佐藤栄作 •••160

藤山愛一郎 ••• 72

佐藤と藤山は二、三位連合の約束があった

- → 池田総裁、辛勝(三選)
  池田総理が病気で退陣
- → 話し合いで後継は佐藤に決まる

ビデオ: 池田三選

### 話し合いによる総裁選び(1964年11月)

### → 佐藤栄作が後継総裁に

官房長官を佐藤側近の橋本登三郎に代えただけで新内閣を発足

### 話し合いによる総裁選びの利点

- 1. 選挙による資金と労力を省ける
- 2. 党内にしこりを残さない
- 3. 前任者は後任者に影響力を残すことができる
- 4. 調整を担当したものは、指名された者に対して貸しを作れる

ビデオ: 1964年 佐藤内閣

## 河野派や三木派は自民党三役の一つを要求 ・・・佐藤はその要求を退けた

田中角栄(自民党幹事長)・・・佐藤栄作の腹心 前尾繁三郎(自民党総務会長)・・・池田勇人の腹心 赤城宗徳(自民党政調会長)・・・川島派

→ 河野派は特に不満

# 日本の政治家佐藤 栄作さとう えいさく



**生年月日** 1901年3月27日

出生地 🔸 日本 山口県熊毛郡田布施町

**没年月日** 1975年6月3日 (74歳没)

死没地

日本東京都港区(東京慈恵会医科

大学附属病院)[1]

出身校 東京帝国大学法学部

前職 運輸省官僚

所属政党 (民主自由党→)

(自由党→)

自由民主党

称号 従一位

大勲位菊花章頸飾

法学士(東京帝国大学・1924年)

配偶者 佐藤寛子

親族 佐藤信寛 (曾祖父)

佐藤信彦(祖父) 佐藤市郎(長兄) 岸信介(次兄) 佐藤信二(次男) 松岡洋右(義伯父) 安倍晋太郎(義甥) 安倍晋三(大甥)

岸信夫 (大甥)

### 佐藤内閣(1964-72)

- 第1次佐藤内閣: 1964年(昭和39年)11月9日 1965年(昭和40年)6月3日
- 第1次佐藤第1次改造内閣: 1965年(昭和40年)6月3日 1966年(昭和41年)8月1日
- 第1次佐藤第2次改造内閣: 1966年(昭和41年)8月1日 1966年(昭和41年)12月3日
- 第1次佐藤第3次改造内閣: 1966年(昭和41年)12月3日 1967年(昭和42年)2月17日
- 第2次佐藤内閣: 1967年(昭和42年)2月17日 1967年(昭和42年)11月25日
- 第2次佐藤第1次改造内閣: 1967年(昭和42年) 11月25日 1968年(昭和43年) 11月30日
- 第2次佐藤第2次改造内閣: 1968年(昭和43年)11月30日 1970年(昭和45年)1月14日
- 第3次佐藤内閣: 1970年(昭和45年)1月14日 1971年(昭和46年)7月5日
- 第3次佐藤改造内閣: 1971年(昭和46年)7月5日 1972年(昭和47年)7月7日

### 佐藤 栄作 (1901年~1975年)

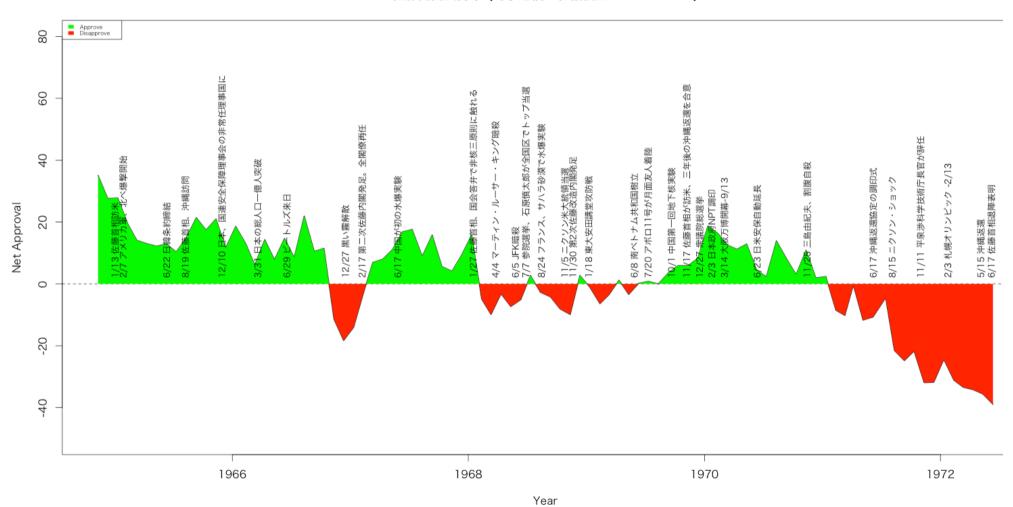
- 日本の鉄道官僚、政治家
- ・「政界の団十郎」「早耳の栄作」の異名
- ・内閣総理大臣として成し遂げた成果:
- (1) 日韓基本条約批准
- (2) 非核三原則提唱
- (3) 沖縄返還
- •「人事の佐藤」
- •ノーベル平和賞を受賞(1974年)
  - --- 2020年時点では日本人唯一の平和賞の受賞者 受賞理由: 非核三原則の提唱

. list year ku kun mag nocand rank party status wl previous votes voteshare if name == "SATO, EISAKU", noobs

year	ku	kun	mag	nocand	rank	party	status	wl	previous	votes	votesh~e
1949	yamaguchi	2	5	13	1	m-jiyu	challenger	win	1	52850	15.9
1952	yamaguchi	2	5	9	2	jiyu-a	incumbent	win	2	60875	17.6
1953	yamaguchi	2	5	9	1	jiyu-y	incumbent	win	3	68386	20.3
1955	yamaguchi	2	5	8	1	jiyu-b	incumbent	win	4	63229	18.9
1958	yamaguchi	2	5	7	2	LDP	incumbent	win	5	72545	19.6
1960	yamaguchi	2	5	8	1	LDP	incumbent	win	6	74830	21
1963	yamaguchi	2	5	7	1	LDP	incumbent	win	7	94785	25.8
1967	yamaguchi	2	5	8	1	LDP	incumbent	win	8	88859	22.5
1969	yamaguchi	2	5	8	1	LDP	incumbent	win	9	96979	23.1
1972	yamaguchi	2	5	9	2	LDP	incumbent	win	10	66282	15.2

### 佐藤内閣 (1964.11.9-1972.7.7)

#### 佐藤内閣支持率 (時事通信 世論調査 1964-1972)



- ・1901年3月、山口県熊毛郡田布施町、三男として生まれる
- 両親は酒造業を営む佐藤秀助・茂世(もよ)
- 高等学校受験の際、名古屋の下宿で偶然に池田勇人と同じ宿に泊まり合わせた
- ・松岡洋右は親戚
- ・五校(今の熊本大学)に入学(池田は一部乙類で文科、佐藤は一部丙類でドイツ法)
- •1921年4月、東京帝国大学法学部法律学科(独法)入学
- 1923年12月、高等文官試験(行政)合格
- 1924年5月、鉄道省に入省
- 1934年から2年間、在外研究員として海外留学(米国、欧州) 研究題目は「欧米における運輸について」 米国各地の他、カナダ、メキシコ、英国、スイス、ドイツ、フランス、イタリアなど視察)
- •1944年4月、大阪鉄道局長(左遷)
- -1947年、運輸次官に就任
- 1948年退官 → 民主自由党に入党(47才)
- ・1948年第2次吉田内閣の内閣官房長官として入閣(非議員)←吉田茂とは遠縁 →池田勇人とともに「吉田学校」の代表格に
- 1949年、総選挙に初当選
- •保守合同(自由民主党結成)では、自民党参加を拒否した吉田に従う
  - → 鳩山一郎引退後に自民党へ入党
- ・ 岸信介の片腕として党総務会長に就任
- 池田内閣でも要職を務めるが、池田の高度成長路線に批判的な立場。
- 「社会開発」「安定成長」「人間尊重」といったスローガンを掲げ、ブレーンらとともに自 らの政権構想を練る

### ライバル達が相次いで死去







大野伴睦 心筋梗塞で死去 (1964/5/29) 河野一郎 動脈瘤破裂で死去 (1965/7/8) 池田勇人 癌再発で死去 (1965/8/13)

→ 佐藤栄作にとっては幸運

#### 日本の政治家 河野 一郎 こうの いちろう



1961年頃に撮影

生年月日 1898年6月2日

出生地 ● 日本神奈川県足柄下郡豊川村

(現小田原市)

**没年月日** 1965年7月8日 (67歳没)

#### 日本の政治家

河野 洋平 こうの ようへい



2008年4月、衆議院議長公邸にて

生年月日 1937年1月15日 (83歳)

出生地

日本 神奈川県平塚市

出身校 早稲田大学政治経済学部経済学科

前職 丸紅飯田社員

ニチリョウ代表取締役社長

日本陸上競技連盟会長

所属政党 (自由民主党→)

(新自由クラブ→)

自由民主党

称号 衆議院永年在職議員

経済学士

桐花大綬章

祖父・河野治平 親族

父・河野一郎

叔父・河野謙三

長男・河野太郎

従兄・田川誠一

#### 日本の政治家

河野 太郎 こうの たろう



外務大臣時代(2019年)

生年月日 1963年1月10日 (57歳)

出生地 神奈川県平塚市

ジョージタウン大学国際学部比較政 出身校

治学専攻

富士ゼロックス社員 前職

日本端子社員

防衛大臣 現職

衆議院議員

所属政党 自由民主党 (麻生派)

称号 Bachelor of Arts in

Government(ジョージタウン大

学)

親族 父・河野洋平 (元衆議院議長)

祖父・河野一郎

大叔父・河野謙三(元参議院議長) 弟・河野二郎(日本端子代表取締役

社長)

公式サイト 河野太郎公式サイト 闷

#### 第20代 防衛大臣

内閣 第4次安倍第2次改造内閣

在任期間 2019年9月11日 - 現職

ビデオ: 1965 河野一郎 急死

ビデオ:1965 池田勇人急逝

### 首相在任中の主な政策

- 1. ILO87号条約(結社の自由及び団結権の保護に関する条約)批准
- 2. 日韓基本条約の批准
- 3. 国民祝日法改正による敬老の日、体育の日、建国記念の日の制定
- 4. 公害対策基本法の制定
- 5. 小笠原諸島・沖縄の返還実現
- 6. 日米安全保障条約自動延長
- 7. 日米繊維摩擦の解決
- 8. 内閣総理大臣顕彰制定
- 9. 非核三原則を表明(「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」) 1967年12月11日、衆議院予算委員会の答弁にて
- 10. →アメリカから「核の傘」の確約を得る

日本が核攻撃を受けた場合、日米安保条約に基づいて核兵器で報復 ジョンソン大統領「保障する」(1965年1月12日)

背景:1964年10月16日に中国が初の核実験を成功

### 首相在任中の主な政策

### 11. 沖縄返還(1969年)

那覇空港で「沖縄の祖国復帰が実現しない限り、わが国の戦後は終わらない」との声明(1965年8月19日)

・交渉の過程でアメリカ側の要請により「有事の沖縄への核持ち込みおよび通過」を事前協議のうえで認める密約が明らかに(2009年12月) (1994年に交渉の密使を務めた若泉敬により公表された)

## 1964-65年の国会で可決された法案・・・社会党から激しい反対

- 1. ILO 87号条約の批准と関連法案
- 2. 農地保障法案

(戦後、農地改革で安く土地を売り渡すことを強制された元地主に対する保障)

佐藤内閣改造(1965年6月)・・・自前の内閣を発足川島正次郎(副総裁) 福田赳夫(大蔵大臣)・・・ 反池田の急先鋒 三木武夫(通産大臣)

派閥内訳 佐藤派・・・6 池田派・・・3 福田派、三木派・・・各2 川島派、石井派、河野派、藤山派、船田派・・・各1 ビデオ:1965 ビートルズ来日

<u>ビデオ: 1965早大全共闘スト</u>

## 李承晩



1956年

### ★ 大韓民国 第1-3代大統領

任期 1948年7月20日 - 1960年4月26

副大統領 李始栄 (1948-1951)

金性洙 (1951-1952)

咸台永 (1952-1956)

張勉 (1956-1960)

首相 李範奭 (1948-1950)

張勉 (1950-1952)

張沢相(1952)

白斗鎮 (1953-1954)

卞栄泰 (1954)

### 日韓交渉

- ・李承晩ラインの設定(1952年)
  - =日本に対する一方的な海洋主権宣言
- ・戦後、GHQは日本の漁船の操業区域を制限した「マッカーサーライン」を示す
- •日本国の主権回復
  - → 「マッカーサーライン」 は廃止(1952年9月)
  - → 日本側の漁船操業範囲が国際的な基準に戻された

1952年1月、李承晩は大統領令「大韓民国隣接海洋の主権に対する大統領の宣言」を公表

→ 韓国の海洋境界線「李承晩ライン」を主張 国際協調を無視して李承晩が行った措置

### その目的:

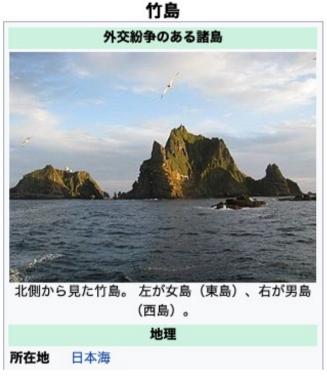
豊富な水産資源の漁場の確保

李ラインを越えて操業している日本漁船

- ・公海とされている領域であっても拿捕され、長期間に渡って 抑留
- ・韓国官憲による暴行や銃撃
- →44人の日本人が死傷
- 韓国側が拿捕した日本の漁船は328隻
- ・日本人漁師3929人が韓国側に拘束

(1952年~1965年までの13年間)





- 韓国は李承晩ラインの内側の広大な水域への漁業管轄権を一方的に主張
- そのライン内に竹島を取り込んだ
- 李承晩ラインの設定は、公海上における違法な線引き
- 韓国による竹島の占拠は、国際法上何ら根拠がないまま行われている不法占拠
- •1952年2月12日、アメリカは、韓国政府に対し、李承晩ラインを認めることができないと通告
- → 韓国政府はこれを無視

ビデオ:1965 日韓国交正常化

# 日韓基本条約の批准(1965年6月) 日韓国交正常化

- •日本(佐藤栄作政権)と韓国(朴正煕政権)との間で調印された条約
- これにより日本は韓国を朝鮮半島の唯一の合法政府と認めた
  - → 韓国との間に国交を樹立
- 韓国併合条約など、戦前の諸条約の無効も確認
- •同条約は15年にわたる交渉の末に調印
- 調印と批准には両国で反対運動が起きた
- 両国間交渉の問題点は賠償金
- →交渉の末、総額8億ドルの援助資金と引き換えに、韓国側は請求権を放棄
  - 無償 3 億ドル
  - ・政府借款 2 億ドル
  - ・民間借款3億ドル

当時の韓国の国家予算は3.5億ドル

社会党は牛歩で反対